



購読料 年8,000円  
送料共 但し、会員は会費に含まれる

発行所  
京都府保険医協会  
〒604-8162  
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637 第41長栄カーニールイス四條烏丸6階  
電話 (075) 212-8877  
FAX (075) 212-0707  
編集発行人 久保 佐世

# 各科の新点数で意見交換

## 専門医会長との懇談会開く

協会は専門医会長との懇談会を5月24日に開催。専門医会から12人、協会から6人が出席した。2014年度診療報酬改定をテーマに、協会からは改定の特徴と意義について解説を行い、各専門医会からは改定への評価と今後の対策、要望について意見を聞いた。

### 機能分化推進と専門医制度のこれからに大きな不安

循環器：病院では紹介率の縛りが強くなり、逆紹介の患者も増え、重症者の割合も高くなっていく。一方、診療所では包括化が進むことで診療機能が低下することを危惧している。

消化器：胃瘻の改定により、これまでの胃瘻を作らないと診ない、入れないというところが是正されるだろう。短期滞在手術等基本料3は、対象手術や検査が病院に集中することを心配している。

泌尿器科：皮下注で行う前立腺がんのホルモン療法が、外来化学療法加算の対

象から外れた。皮下注といえども太い針を使う場合もあり、一つ間違えば大出血に繋がりがかねない。それが評価されないことは問題。

耳鼻咽喉科：副鼻腔の手術が整理されたことは良かった。ただ、耳鼻科はもとも処置料が低い。特に幼児の診察は苦勞するが評価がない。学会から乳幼児加算を要望しているが取り合ってもらえない。

眼科：水晶体再手術1、2が短期滞在手術等基本料3に含まれ、入院して5日目までに該当手術は短期滞在手術等基本料3で算定することになった。入院5日目までに両眼の手術でも片眼の手術でも前述のマルメの点数でしか請求できず、

病院としてはかなりの収入減となり困惑している状態である。水晶体再手術などは外来で手術せよという目論見であるだろうか？

産婦人科：帝王切開術が、手術時間が短くなったという理由で大幅に点数が引き下げられた。手術時間は様々な努力の結果短くなった訳であって理不尽極まりない。日本産婦人科医学会の撤回要望も実らず非常に残念。

外科：休日・深夜・時間外の加算1の新設や評価された手術は大きな病院が対象であり、本当の地域医療を担う中小病院への配慮不足。一方で中小病院も対象となる胃瘻造設術は引き下げられた。こういう汎用手術

象から外れた。皮下注といえども太い針を使う場合もあり、一つ間違えば大出血に繋がりがかねない。それが評価されないことは問題。

耳鼻咽喉科：副鼻腔の手術が整理されたことは良かった。ただ、耳鼻科はもとも処置料が低い。特に幼児の診察は苦勞するが評価がない。学会から乳幼児加算を要望しているが取り合ってもらえない。

眼科：水晶体再手術1、2が短期滞在手術等基本料3に含まれ、入院して5日目までに該当手術は短期滞在手術等基本料3で算定することになった。入院5日目までに両眼の手術でも片眼の手術でも前述のマルメの点数でしか請求できず、

病院としてはかなりの収入減となり困惑している状態である。水晶体再手術などは外来で手術せよという目論見であるだろうか？

産婦人科：帝王切開術が、手術時間が短くなったという理由で大幅に点数が引き下げられた。手術時間は様々な努力の結果短くなった訳であって理不尽極まりない。日本産婦人科医学会の撤回要望も実らず非常に残念。

外科：休日・深夜・時間外の加算1の新設や評価された手術は大きな病院が対象であり、本当の地域医療を担う中小病院への配慮不足。一方で中小病院も対象となる胃瘻造設術は引き下げられた。こういう汎用手術

象から外れた。皮下注といえども太い針を使う場合もあり、一つ間違えば大出血に繋がりがかねない。それが評価されないことは問題。

耳鼻咽喉科：副鼻腔の手術が整理されたことは良かった。ただ、耳鼻科はもとも処置料が低い。特に幼児の診察は苦勞するが評価がない。学会から乳幼児加算を要望しているが取り合ってもらえない。

眼科：水晶体再手術1、2が短期滞在手術等基本料3に含まれ、入院して5日目までに該当手術は短期滞在手術等基本料3で算定することになった。入院5日目までに両眼の手術でも片眼の手術でも前述のマルメの点数でしか請求できず、

象から外れた。皮下注といえども太い針を使う場合もあり、一つ間違えば大出血に繋がりがかねない。それが評価されないことは問題。

耳鼻咽喉科：副鼻腔の手術が整理されたことは良かった。ただ、耳鼻科はもとも処置料が低い。特に幼児の診察は苦勞するが評価がない。学会から乳幼児加算を要望しているが取り合ってもらえない。

眼科：水晶体再手術1、2が短期滞在手術等基本料3に含まれ、入院して5日目までに該当手術は短期滞在手術等基本料3で算定することになった。入院5日目までに両眼の手術でも片眼の手術でも前述のマルメの点数でしか請求できず、

病院としてはかなりの収入減となり困惑している状態である。水晶体再手術などは外来で手術せよという目論見であるだろうか？

産婦人科：帝王切開術が、手術時間が短くなったという理由で大幅に点数が引き下げられた。手術時間は様々な努力の結果短くなった訳であって理不尽極まりない。日本産婦人科医学会の撤回要望も実らず非常に残念。

外科：休日・深夜・時間外の加算1の新設や評価された手術は大きな病院が対象であり、本当の地域医療を担う中小病院への配慮不足。一方で中小病院も対象となる胃瘻造設術は引き下げられた。こういう汎用手術

象から外れた。皮下注といえども太い針を使う場合もあり、一つ間違えば大出血に繋がりがかねない。それが評価されないことは問題。

耳鼻咽喉科：副鼻腔の手術が整理されたことは良かった。ただ、耳鼻科はもとも処置料が低い。特に幼児の診察は苦勞するが評価がない。学会から乳幼児加算を要望しているが取り合ってもらえない。



総合診療専門医問題もテーマに

ここで収益を上げるわけにはいかなが、いつか患者さんの不利益に繋がるのではないかと懸念している。

形成外科：組織拡張器による乳房再建手術の保険適用と、局所陰圧閉鎖処置(外来)の本点数化は歓迎している。専門医制度改革では、診療報酬上で専門医間の扱いに差が付くことを心配している。

4月から消費税率が8%になり、3カ月が経過した。消費税アップ分は診療報酬でカバーしていると言われているが、全く実感はない。そもそも消費税は何を買っても8%の税金がかかるというわかりやすい税金を実現するため、その影で複雑な計算考案方をしなければならぬ。例えば、生産者が税抜き500円で卸に売るとき、卸は540円支払う。卸は税抜き1000円で小売店に売るときには小売

店が1080円支払う。小売店は消費者に税抜き500円で売れば、消費者は1620円支払う。それぞれ消費税は40円、80円、120円支払っているが、生産者が消費税として納税するのは40円、卸は80円のうち40円分はすでに支払っているから、40円、同様に小売店も40円とな

る。生活必需品の免税、軽減というところがよく言われているが、その実践のために1620円を支払う。それは、どの部分を軽減すれば良いのか難しいのである。

この損税を解消するため、今までは診療報酬に消費税分が積み込まれているものとしていたが、この方法では支払う消費税が医療機関によって違ったため、解

消されるはずがない。損税があり、また申告の事務負担が過重になる可能性も注目を集めている。ゼロ税率と似ているが異なる方法として「カナダ方式」などとして支払った消費税を申告して還付を受ける方法がある。

すでに、病院は損税が過大になって存続が危ぶまれる医療機関もあるという。一方、診療所にとっては事業税の非課税・4段階税率制の撤廃は死活問題であり、共通した対応策が出しにくい状況だ。しかし、消費税10%は目前に近づいており、医療界が一致団結して対応しなければならぬ。

計を期待したい。(彦)

# 主張

報酬でカバーしていると言われているが、全く実感はない。そもそも消費税は何を買っても8%の税金がかかるというわかりやすい税金を実現するため、その影で複雑な計算考案方をしなければならぬ。例えば、生産者が税抜き500円で卸に売るとき、卸は540円支払う。卸は税抜き1000円で小売店に売るときには小売

## 損税解消で医療界一致の対応策を

店が1080円支払う。小売店は消費者に税抜き500円で売れば、消費者は1620円を支払う。それぞれ消費税は40円、80円、120円支払っているが、生産者が消費税として納税するのは40円、卸は80円のうち40円分はすでに支払っているから、40円、同様に小売店も40円とな

る。生活必需品の免税、軽減というところがよく言われているが、その実践のために1620円を支払う。それは、どの部分を軽減すれば良いのか難しいのである。

この損税を解消するため、今までは診療報酬に消費税分が積み込まれているものとしていたが、この方法では支払う消費税が医療機関によって違ったため、解

消されるはずがない。損税があり、また申告の事務負担が過重になる可能性も注目を集めている。ゼロ税率と似ているが異なる方法として「カナダ方式」などとして支払った消費税を申告して還付を受ける方法がある。

すでに、病院は損税が過大になって存続が危ぶまれる医療機関もあるという。一方、診療所にとっては事業税の非課税・4段階税率制の撤廃は死活問題であり、共通した対応策が出しにくい状況だ。しかし、消費税10%は目前に近づいており、医療界が一致団結して対応しなければならぬ。

計を期待したい。(彦)

総合診療法が成立  
保険者直接審査に反対  
消費税率引上げと今次改定で

代議員月例アンケート  
消費税率引上げと今次改定で (4面)

主な内容  
(2面)  
(3面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度(所得補償、傷害疾病保険)
- ◆針刺し事故等補償プラン
- ◆自動車保険・火災保険

☎075-212-0303

3以上に認定されることが難しくなってきた。これも問題である。

内科：現在の厚労省保険局医療課長は、ナースングケアに非常に熱心。これからは、医療の水準を揺るがすことになること。また、地域における各専門医数が規制され、不足分は総合診療医で代替させることが狙われており反対である。この問題をめぐって意見や提案をいっただきたい旨お願いして懇談会を終了した。

協会は総合診療医にたいして、専門領域を深めず幅広く診る医師を養成することは、医療の水準を揺るがすことになること。また、地域における各専門医数が規制され、不足分は総合診療医で代替させることが狙われており反対である。この問題をめぐって意見や提案をいっただきたい旨お願いして懇談会を終了した。

2017年度から始まる新専門医制度に19

るのか、非常に危惧される。